

化学療法連携シートにて報告受付する急性症状および副作用症状

化学療法関連有害事象 (急性症状)	項目	評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">赤枠に当てはまる症状を確認した場合はフォームに回答の上、薬剤局まで電話連絡をお願いします。</p>  </div>	
	発熱	38℃以上		
	感染症	炎症症状など		
	出血	喀血、下血など		
	急激な体重の変化	3日以内に2kg以上の増減		
	疼痛	胸痛、筋肉痛など		
	排尿の変化	尿が増える・減る 褐色になる		
化学療法関連有害事象 (Grade評価)	項目	Grade3以上	Grade2	Grade1
	悪心	食事、水分の経口摂取量が不十分な状態	脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	摂食習慣に影響のない食欲低下
	嘔吐	24時間 に6回以上の嘔吐	24時間 に3-5回の嘔吐	24時間 に1-2回の嘔吐
	食欲不振	体重減少または栄養失調を伴う経口摂取量の減少	栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	摂食週間の変化を伴わない食欲低下
	味覚異常	-	食生活の変化を伴う味覚変化	食生活の変化を伴わない味覚変化
	便秘	排便を要する頑固な便秘	定期的に便軟化薬/緩下薬/洗腸を使用する持続的な便秘	不定期に便軟化薬/緩下薬/食事の工夫/洗腸を使用する便秘
	下痢	ペースと比べて≥7回/日の排便回数の増加	ペースと比べて4-6回/日の排便回数の増加	ペースと比べて<4回/日の排便回数の増加
	口腔粘膜炎	経口摂取に支障がある高度の疼痛	疼痛はあるが経口摂取はできる	治療を要さない軽度の症状
	呼吸困難	息切れのため、身の回りのこともできない	ゆっくり歩行した際に息切れはあるが、日常生活はできる	階段や坂道を登る際に息切れがある
	末梢神経障害	痺れが強く、日常生活が制限される(ボタンかけなど)痺れ	痺れはあるが、日常生活に支障がない	軽度の痺れ
	倦怠感	日常生活が制限される倦怠感	休息によって軽快しないが日常生活はできる倦怠感	休息により軽快する倦怠感
	筋力低下	明らかな筋力低下のため、日常生活が制限される	明らかな筋力低下はあるが、日常生活に支障がない	明らかな筋力低下はないが、力の入りにくさを感じる
	皮膚障害	体表面積の30%≤紅斑やそう痒を伴い日常生活に支障がある	体表面積の10-30%紅斑やそう痒を伴うが日常生活はできる	体表面積の<10%紅斑やそう痒は伴わない
	爪囲炎	外科的治療や点滴治療を要する	局所・内服治療が必要な疼痛、爪壁の浮腫や紅斑、滲出液や爪の分離を伴う	爪壁の浮腫や紅斑、角質の剥脱
	手足症候群	疼痛を伴う高度の皮膚の変化があり、日常生活に支障がある(例:角質剥離、水疱、出血、浮腫、角質増殖症)	疼痛を伴う皮膚の変化(例:角質剥離、水疱、出血、浮腫、角質増殖症)	疼痛を伴わない皮膚の変化または皮膚炎(例:紅斑、浮腫、角質増殖症)

高松市立みんなの病院 薬剤局

令和6年4月1日作成